

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」

都道府県名	34 広島県
市区町村名	34369北広島町
自治体区分	都道府県

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）
34369北広島町	②学校と地域の課題	05 その他	過疎化・人口減少が急速に進む校区の現実を踏まえ、①ふるさと豊平を維持・発展させる人材、②ふるさと豊平の関係人口であり続ける人材の育成について、地域と地域の負託に応えるべき学校の重要な課題である。	昨年度以上に、地域の方に授業に入ってもらいながら関わりをもって地域の課題解決に向けて取り組んでいる。	・学校では、総合的な学習の時間を中心に地域を題材とした体験活動やこれに基づく学習を義務教育学校の9年間計画的に進める。このことを通して、地域の魅力を感じ取ったり地域の人々とのつながりを創ったり、地域課題への取り組みを学んだりする。 義務教育学校低学年：地域の多様な人々とのふれあい 義務教育学校高学年：農業を中心とした地域産業や伝統文化、まちづくりの体験（後期課程：職業体験と地域づくりへの貢献）	学校と地域の協働が進み、相互の信頼関係が深まる。 ふるさと豊平を想う価値観が広がり、地域の担い手や関係人口の維持・拡大に寄与する。	ふるさと豊平に住みたいと回答する児童生徒の割合	75	%	80	80	03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた。 地域で活躍している人々と積極的に交流しながら学んでいくことで、児童生徒が地域を知り、理解を深めることが出来た。 今後は、地域の担い手として活躍できるよう引き続き取り組み、学校と地域の関わりをより深化させていくようにする。

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。